
一 般 質 問 通 告 書

(通告者 15名)

平成22年裾野市議会12月定例会



12月14日(火)

12月15日(水)

12月16日(木)

1 大庭 敏克 議員……1 P～2 P

6 勝又 明 議員……1 0 P

11 賀茂 博美 議員……1 8 P～1 9 P

2 渡部 昭三 議員……3 P～4 P

7 二見 榮一 議員……1 1 P～1 2 P

12 岡本 和枝 議員……2 0 P～2 1 P

3 岩田 広行 議員……5 P～7 P

8 二ノ宮善明 議員……1 3 P

13 内藤 法子 議員……2 2 P～2 4 P

4 三富美代子 議員……8 P

9 小澤 良一 議員……1 4 P～1 5 P

14 土屋 秀明 議員……2 5 P～2 6 P

5 佐野 利安 議員……9 P

10 杉本 平治 議員……1 6 P～1 7 P

15 小林 俊 議員……2 7 P

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>1. 大庭敏克</p>	<p>(1) 集中改革プランの2005年から5年間の計画(4.7%~5.8%)について、目標達成の実績と結果をお伺いしたい。</p> <p>(2) 民間業務委託の実績と今後の取り組み及び計画についてお伺いしたい。</p> <p>(3) 地方公務員に対して、2006年に目標を引き上げ、6.4%削減を目指すよう数値目標が総務省から出ていたが、実績はどのようになったかお伺いしたい。</p> <p>(4) 昨年度の職員数は、管理職104人、一般職328人、合計432人となったが、今後も5~7%削減は可能ではないかお伺いしたい。その後の対応と計画についてもお考えをお伺いしたい。</p> <p>(5) 管理職員数も10%削減を提案したが、その後はどのようになったかお伺いしたい。</p> <p>(6) 組織の再編成は、職員削減と同時に考慮すべきであるが、目標達成のための努力目標をお聞かせ願いたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 人件費の是正と民間企業等との格差について</p>	<p>(1) 第4回臨時議会における職員の給与に関する条例等の一部改正が可決されたが、今後の対応と市民意識についてお伺いしたい。</p> <p>(2) ラスパイレス指数は、相変わらず県下市町では、最上位にあるが、是正の方向はどのように進んでいるかお伺いしたい。</p> <p>(3) 管理職手当等の県内市町と比較してかなり上位と思えるが、実情はどのようになっているか、今後の対応はいかがかお伺いしたい。</p> <p>(4) 財政状況を考慮すると、人事院勧告の月例給、期末勤勉手当ともに引下げる内容であるが、本給の再検討をすべきと思えるが、対策をお伺いしたい。</p> <p>(5) 現行の昇給昇格の制度を維持しながら近隣市町の状況を勘案しながら研究すると答弁を受けているが、研究成果はいかがかお伺いしたい。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>2. 渡 部 昭 三</p>	<p>(1) 国では、平成6年12月に「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について(エンゼルプラン)」が定められ、さらに緊急に整備する必要がある保育対策については、「緊急保育対策等5カ年計画」として、平成7年度から推進し、静岡県では、同じく平成7年度に「ふじのくにエンゼルプラン」を策定し事業を推進してきました。</p> <p>裾野市では、国・県の動向を踏まえて、21世紀を担う子どもを健やかに生み育てる「健康文化都市すその」を基本理念として、「すそのエンゼルプラン(裾野市子育て支援総合計画)」を平成12年3月に策定し、事業に取り組みました。</p> <p>しかし、少子化が今後一層加速するであろうと予測される中、社会環境の大きな変化への対応として、地域における子育て支援や社会保障における次世代支援等の対策を進めるため、国では、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が成立し、国が定める指針に基づき、次世代育成支援に関する計画的取り組みを義務付けました。</p> <p>裾野市では、新たな課題に対応するため、「裾野市次世代育成支援対策行動計画」を策定し、事業を推進していただいております。そこで、以下の事項について伺う。</p> <p>ア 裾野市子育て支援総合計画(すそのエンゼルプラン)(平成12年度～16年度)の事業評価のまとめ(概要)について伺う。</p> <p>イ 裾野市次世代育成支援対策行動計画(前期計画)(平成17年度～21年度)の事業評価のまとめ(概要)について伺う。</p> <p>ウ 裾野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)(平成22年度～26年度)は前期計画の事業推進状況の把握、事業評価、ニーズ調査等の事業実績の分析を基に策定されていますが、後期計画における課題とその対策について伺う。</p> <p>エ 後期計画の事業は、平成22年度からすでに着手されています。社会環境の変化や経済変動による厳しい財政状況が続く中で、事業の推進は困難を極め尽くされると思われませんが、後期計画の事業推進にあたって、当局の考えを伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 きめ細かな取り組みを必要とする障害児の健全育成の支援について</p>	<p>(1) 集団生活が可能な障害児に対し、健全育成を促進するためにも放課後児童室での障害児の受け入れ体制づくりについて、当局の考えを伺う。</p> <p>(2) 障害児保育施設の充実については、将来的に市内にも通園施設の設置が望まれますが、当局の考えを伺う。</p>	市 長
<p>3 J R 裾野駅駅舎建設と東西自由通路建設及びそれに伴うエレベーター設置事業について</p>	<p>駅舎建設及び東西自由通路については、駅西土地地区画整理事業の進捗状況及び駅前広場整備と調整しながら建設時期を検討していきたいとこれまで当局の考えを示されています。そこで以下の事項について伺う。</p> <p>(1) 駅舎建設事業の現況及び今後の工事計画について伺う。</p> <p>(2) 東西自由通路建設事業及びエレベーター設置事業の現況と今後の工事計画を伺う。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>3. 岩 田 広 行</p> <p>1 行政の組織経営が機動的・効果的に実行され、問題、課題に対して迅速に実施される民間企業の経営戦略的体制を推進していくPDCA サイクルにおける裾野市中心市街地活性化基本計画について</p>	<p>PDCA サイクルが導入され、総合計画・計画策定・日常業務に生かされ、行政改革及び事務事業の抜本的な見直しが期待されるところであります。</p> <p>既にP（計画）・D（実施）されている裾野駅西土地区画整理事業と、これから実施される施設の整備・商業活性化計画の検証と見直しについて伺います。</p> <p>(1) 商工観光室所管の商業の活性化プロジェクトについて伺う。 中心市街地の人口 平成10年 約8,000人、平成22年 6,821人 駅中央商店街の店舗数 昭和56年 145店舗 平成10年 111店舗 平成22年 102店舗である。以下の活性化計画を ○今後実施するのか。 ○見直すとしたらその理由 ○見直し案 について伺う。</p> <p>ア 立体換地手法による駅前立体換地ビル（情報センター・ホテル・商業業務）</p> <p>イ 商店街が主体となった共同駐車場の整備</p> <p>ウ パティオ型共同店舗</p> <p>エ ワンストップ行政（市役所と郵便局を一体とする市民センターの設立）</p> <p>オ 定輪寺と浅間神社を結ぶ、アメニティー軸の街道</p> <p>カ 市民サービス及び環境共生をアピールする施設である（仮）小柄沢センター</p> <p>キ 「環境共生と先端技術」をアピールするゾーンが設定され、太陽光発電・電気自動車など市内企業の最先端技術が街中で生かされるよう、市内優良企業との連携・協力の計画</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 第4次裾野市総合計画について</p>	<p>(2) 平成28年度末完成予定の土地区画整理室所管の駅西土地区画整理事業について伺う。 平成21年度決算の工事進捗率は 公共用整備延長率(河川・道路) 5.9% 宅地整備面積率(宅地造成) 4.6% 仮換地指定 14.6% 当初予算 190 億円に対し、平成14年から平成21年までの経費 48 億 3,720 万 4 千円 ア 工事完成予定は、いつ頃になる見通しか伺う。</p> <p>イ 予算は、いくら位になるか伺う。</p> <p>ウ PDCAサイクルによると、どのような検証が行われ、どう改善されていくおつもりか伺う。</p> <p>基本構想は、地方自治法第2条第4項が示すとおり、地域住民の代表である議会の議決を経て策定される。これは、地域住民の総意が反映され、集約されていることが基本構想策定の必要不可欠な条件であることを示しているところであります。そこで、以下の事項をお伺いします。</p> <p>(1) 総合計画策定の方針では、①経営戦略・地域資源の活用における発想の転換 ②町づくりの戦略性・独自性 ③事業の縮小や削減を視野に事業の確実性をうたっている。10年先の裾野市の自治体基盤を考えたときに、基礎自治体強化のため合併により政令指定・中核・特別市に移行を目指すのか、又は単独で効率化型へ移行を目指すのか伺う。</p> <p>(2) 総合計画策定市民委員会の建設・産業部会の提言について、都市計画の現状と課題・事業継続の困難さが理解され、「中心市街地が活性化することにおける市全体への影響、各地区との関係等について意見が挙げられ論議が高まった。」とあるが、市民委員の意見はどのようなものか伺う。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 質 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
<p>3 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」について</p>	<p>「公共交通基盤の確保」「利便性の高い道路網の整備」を施策の柱とし、実現の手段に「生活道路の整備」をあげています。また、「魅力ある景観の保全」をも柱に据えています。そこで伺います。</p> <p>(1) 静岡県が管理道路である国道469号線の須山地先の雪氷対策費（パトロール・除雪・凍結防止剤散布）は、年間5,401,000円かかっております。道路に覆いかぶさり、日光照射と景観を損ねている杉の木を、左右1m伐採することで、凍結防止効果、景観の保全に役立ちます。県と協力して事業を進めることを提案するが如何か伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>4 ごみ焼却施設の老朽化対策を、パワーセンターやリカバリーセンターなどの発電施設に生まれ変わる施策について</p>	<p>ごみ焼却炉は、都市計画上の都市施設であり、建て替えには施設の位置決定、環境調査、県への届出等々計画から完成まで10年を要すると思われます。寿命は短くて20年、延命化でも10年といわれる中、裾野市の焼却炉は2基、92トン処理で23年が経過している。延命の費用負担・建設計画からすると、時間がない。次世代の電力供給資源処理施設として、広域化も視野に検討する時期にあると思うが如何か。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>4. 三 富 美 代 子</p>	<p>近年20代から30代の若い女性に急増しています子宮頸がんは、ワクチン接種と検診の定期的な受診によって、発症を防ぐことができる「予防できるがん」です。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>1 子宮頸がんワクチンの助成拡充について</p>	<p>本市では、女性の健康づくりを推進するため、本年10月1日より、中学1年生から3年生を対象に、子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額補助が実施されました。以下の点について、お伺いします。</p> <p>(1) 現在の申請状況について</p> <p>(2) 市民への周知と啓発活動の現状について</p> <p>(3) 相談体制と学校保健との連携について</p> <p>(4) 全額補助の対象外である10代、20代の若い世代に対する今後の対応について</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 放課後児童室について</p>	<p>放課後児童室は、女性の就労の増加等により、昼間の家庭が留守となる小学校に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る事業として実施されています。仕事と子育ての両立支援、児童の健全な育成のための対策として、重要な役割を担っています。</p> <p>(1) 本市では、平成18年度から市内小学校9校全校で実施されていますが、保護者の利用ニーズに対して、これまでの取り組みと待機児童の状況について伺います。</p> <p>(2) 放課後児童室の土曜日開設の利用状況と、放課後児童指導員の就労状況について伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>3 公用車への車体広告の掲載について</p>	<p>新たな自主財源の確保策として、市の保有する公用車の車体に企業向けの広告枠を設けて掲載を実施しては如何ですか。公用車は平日、稼働率が高く、周知効果も期待できるため、多数の応募が考えられます。公用車への車体広告の掲載について、ご見解を伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>5. 佐野利安</p>		
<p>1 河川の氾濫、洪水対策について</p>	<p>(1) 平成22年9月8日台風9号により、小山町で大災害が発生しましたが、裾野市内に危険箇所は何箇所あるか。また、小山町の大災害の後調査を行ったかお伺いしたい。</p> <p>(2) 入田川砂防ダム下流150m地点から300mの間に倒木が河川に30本から40本程放置してあるが、除去してもらえないか、お考えをお伺いしたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 裾野市障害者授産施設の取り組みについて</p>	<p>(1) 施設利用者は定員40人を予定しているが、スタッフは何名か。その中に防火管理者はいるかお伺いしたい。</p> <p>(2) 施設に看護師を配置したいと思いますが、お考えをお伺いしたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>6. 勝 又 明</p>	<p>裾野市の中心市街地の活性化は、今行われている駅西土地区画整理の完成を予定どおりに遂行することであると考える。そこで以下伺う。</p>	
<p>1 中心市街地の活性化について</p>	<p>(1) 平成28年度完成について可能か伺う。</p> <p>(2) 事業総額190億円の予算で可能か伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 健康推進について</p>	<p>健康を維持していくには適度の運動が必要だと思っています。手軽にできて子供から年配者まで楽しめる、グランドゴルフまたはパークゴルフの普及は、まさに健康増進とコミュニケーションを図る最適なスポーツと認識しています。しかしながら、市内にはきちんとしたプレイ場がありません。健康推進そしてスポーツに親しむためにもグランドゴルフ場またはパークゴルフ場の開設或いは整備が必要と思うが当局の見解を伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>3 姉妹都市交流について</p>	<p>裾野市とフランクストン市姉妹都市交流は来年で30周年を迎えます。その間相互に訪問し友好を深めてきました。来年開催されるオーストラリアンフェアは裾野市海外友好協会との連携で記念行事などが行われることと思われる。交流の継続の観点から30年を節目と捉え以下伺う。</p> <p>(1) 今後の姉妹都市交流のあり方について伺う。</p> <p>(2) 30周年記念事業についてはどのように考えているか伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>4 副市長不在について</p>	<p>副市長は市長を支えるトップマネジメント体制と言われている。(地方分権改革により地方公共団体の役割と責任が広がっており、組織運営面における自主性・自立性の一層の拡大を図り、マネジメント機能の強化が必要であるとしている)副市長不在から半年以上経過しているが異常な状況と判断している。</p> <p>(1) これまでの経緯(不在)について法律上の問題はどうか伺う。</p> <p>(2) 今後の日程について伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>7. 二 見 榮 一</p>	<p>9月議会でも質問しましたが、改めて認識しておく必要があるのは、本市の財政状況であります。 昨今の一向に止まらない円高、そして改善されない雇用問題などと、社会経済状況は大変厳しく、また目まぐるしく変化している中、市民の行政需要に安定的に答えていくには着実に行う行政改革と企業誘致などを積極的に行う成長戦略による財政確保が必要であると考えます。 当市にとって平成22年度というのは、平成23年度以降の財政計画策定を見据えた上、市民の理解を得ながら、行政改革の目標値やそれに向けての具体的手順、また、行政評価でのスクラップなどを明らかにし、着手しておかなければならない時期であると思います。 そこで以下のことについて市長に伺います。 (1) ファルマバレープロジェクトにおける当市への重粒子線治療施設誘致について、今年9月議会での回答以降の進捗状況はどのようになっているか。 (2) 重粒子線治療施設誘致について、本当にやる気があるのか。 (3) 重粒子線治療施設誘致のための庁内体制はその後どのようなになっているか。 (4) 重粒子線治療施設誘致のための市側の事前調査はどこまで行ったのか。 (5) 第4次総合計画実施計画の策定にあたり、各室とのコンセンサスと経過についてはどのように行ったのか。また、平成23年度重点施策基本方針策定における経費重点配分の根拠は、誰とどのようにきめたのか。 (6) 行政評価は、行政改革推進にどのように活かされているのか。また、行政改革推進委員会の開催状況と内容について。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 未就学発達障害児通園施設建設について</p>	<p>(7) 市長は、財政状況が厳しいと常日頃言っている中、平成23年度予算編成にあたり、経費削減ほどの事業をどのようにしていくのか伺う。 また、財政調整基金をできるだけ取り崩さないで、次年度以降の予算を組む方策はどのように考えているのか。</p> <p>(8) 事業仕分けは行ったのか。その方法と経過についてどのようになっているか。</p> <p>市は、石脇の市有地に障害者福祉施設（授産所）を建設することとなった。 来年10月完成を目標に、定員50人で、現在みどり作業所に通っている障害者らが新施設を利用する。 当初の計画では、この施設と一緒に未就学発達障害児通園施設建設について、一昨年のリーマンショックのあおりを受け裾野市は財政危機に陥り、平成20年度に基本設計を作成したにもかかわらず、建設計画の先送りとなった。 できるだけ早い段階での療育指導が大切だという発達障害児を抱える、親、保育園、幼稚園、学校などの関係者から、施設の建設は是非とも必要な施設としてよく耳にする。そして、施設建設に非常に要望が高い。そこで伺う。</p> <p>(1) 現在、未就学発達障害児の人数は把握しているか。</p> <p>(2) 未就学発達障害児について、どのような問題、課題があり、その対策について伺う。</p> <p>(3) 財政状況の悪化で建設計画は先送りとなっているが、民間活力を導入し、国、県補助金等を利用し、財源の確保をしていく考えはあるか。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>8 二 ノ 宮 善 明</p>	<p>(1) 施行期間を平成15年2月17日～平成29年3月31日と掲げてありますが、とても実現不可能な目標年度のように思われます。この設定した施行期間について当局はどのようにお考えになっているのか伺います。</p> <p>ア 進捗状況が予定通りならよしいが、遅れているのであれば、遅れの要因は何だと思われるのか。</p> <p>イ この事業を成功させる為のスピードを速める必要性について、どのようなお考えか。</p> <p>ウ その為には、どうするのがベストだとお考えか。</p> <p>(2) 事業完成後の定住人口を1,200人としているが、現在の約700人を1,200人に増やす為にどのような対策をお持ちなのか伺いたい。</p> <p>(3) 中心市街地の定住人口が1,200人になれば、駅前に警察官の常駐が必要と思われるが、平成25年4月の裾野警察署の開署と合わせて考えた上で、市民の安全・安心の為に駅前への警察官常駐について、どのような計画をお持ちなのか伺いたい。</p> <p>(4) 先行取得した事業用地の有効利用について。</p> <p>(5) 駅舎の自由通路の為に駅東地区の土地先行取得が必要と思うが、どのような計画をお持ちなのか伺いたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>9. 小 澤 良 一</p>		
<p>1 緊急経済対策 住宅建設等</p>	<p>経済状況が厳しいなかで、地域から経済の活力を生み出す為に以下提案する。</p> <p>(1) 住宅建設に対する助成制度の創設。</p> <p>(2) 住宅リフォームに対する助成制度の創設。 助成額の一定額は商品券として地元商店の買い物で使う工夫をする。</p> <p>(3) 住宅関連事業者などとの協議を行うことについて。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 デマンド交通対策はどうなっ たか</p>	<p>市内循環バス「すそのーる」走行地域以外で路線バスが走行していない、あるいは路線バス運賃が高い。循環バス運行地域は70才以上の高齢者は無料乗車との不平等を指摘する声を頻繁に聞く機会がある。市は対策として、タクシー、営業バス乗車運賃を一回100円補助することにしたが、不平等意見は解消されていない。市は対策を研究するとの考えを議会や地区市政懇談会で表明しているが。</p> <p>(1) 何処まで対策研究が進んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 過疎地有償運送方法で、福祉施設などのワンボックスカーなどを活用して不平等との地域の声に応える対策を提案するが如何か。</p> <p>(3) 営業バスが昼間走行しても乗客が少なく、あるいは、乗車していない裾野市内の走行は運行を中止して、NPOなどの運行する車両に任せてはどうか。可能性について伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
3 暮らし満足の裾野市の実現は	<p>(1) 2011年度予算編成の方針を伺う。同僚議員が提起した「入るを量りて出ずるを為す」の下、予算編成をしたらどのような影響が出てくるのか伺う。</p> <p>(2) 市長が考えている、暮らし満足の高い裾野市とはどのような裾野市を描いているのか伺う。</p> <p>(3) 行政の効率化、税金の有効利用、これに関しては異議を言う方はいないか少ないと思います。税金の有効利用の名の下に、権限移譲や市民要求が拡大してきている中で、人件費を抑制するために、食育の役割を担っている給食員の委託の考えや子育て部門の民間委託化などは市民が歓迎し、それが暮らし満足の向上に役立つとの考えか伺う。</p> <p>(4) 地区市政懇談会でのH22年度の記録を読んで、これでは懇談会に参加した方々は、満足行くどころか不満を抱えて帰られたことだと思います。行政と市民が工夫して提起されている難しい問題、どう実現して行くのかが見えない内容は、満足度を上げることにはなっていないと考えるが、各地区市政懇談会を振り返って改善することはないのか伺う。</p>	市 長
4 ヤクルト球団との交流	<p>裾野市は、ヤクルト工場が有り、オーナーとしてヤクルト球団を保有している。このヤクルト球団と裾野市が交流の機会を持ち、ヤクルト球団と裾野市の情報発信の機会ができないか伺う。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>10. 杉 本 平 治</p>	<p>本市では、1976年10月12日に市街化区域と市街化調整区域に区域区分され線引きが行われました。このため、市街化区域では地価が高騰し、容易に用地買収ができないため道路整備が遅れ、市街化調整区域では、さまざまな規制がかけられ、地域の活性化は計られませんでした。良好で、機能的な都市の形成ができないまま、現在に至っております。</p> <p>2000年に都市計画法の改正があり、線引きを実施するかどうかの権限が国から都道府県に与えられました。このことにより、少子高齢化対策や地域格差を是正した市があります。</p> <p>宮崎県の都城市では、1988年4月、日本で最初に線引きを廃止した市であります。また、愛媛県新居浜市でも、2004年5月に線引きを廃止して諸問題を解決しています。したがって、線引きの廃止は可能であります。これから、急速に進む少子高齢化社会、市場経済の落ち込みによる市税の減収など、裾野市を取り巻く社会環境は大きく変化しております。したがって、不透明な経済状況の中、安定的な財源確保のため、定住人口を増やすことや地域間における格差をなくすことは、早急に対処しなければならないと考えます。</p> <p>35年も前の法律に縛られていては、裾野市に明日はありません。裾野市の未来のために今行うべきは線引きの廃止以外にないと考えます。よって以下の質問をします。</p> <p>(1) どのような理由で現在の市街化区域を区域決定したのか伺います。</p> <p>(2) どのような理由で市街化区域内の農地がまだ残ってしまっているのか伺います。</p> <p>(3) 線引きによる地域格差が生じていると思うが、どのような見解を持たれているのか伺います。</p> <p>ア 市街化区域・市街化調整区域の土地の価格差について。</p> <p>イ 市街化区域・市街化調整区域の農地に係る税の格差について。</p> <p>ウ 市街化区域内（駅周辺）の過去10年間の人口推移と活性化について。</p> <p>エ 人口増の望めない市街化調整区域の過疎化対策について。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 安定的財源の確保について</p>	<p>(4) 線引きを廃止し、暮らし満足のまちづくりのため、市街化調整区域の土地を求めやすくすることについての見解を伺います。</p> <p>(5) 市街化区域内の道路整備の遅れ（駅東地区）は、線引きによる土地の価格に問題があると思うが、見解を伺います。</p> <p>(6) 低炭素社会の構築を目指すに当たり、線引きを廃止し、企業集積地付近の市街化調整区域に新しい住居形態をつくることについての見解を伺います。</p> <p>現在当市においては、円高、デフレなど不透明な経済情勢の中、税収の大幅な落ち込み、不安定な雇用問題など多くの問題があります。しかし、市民への変わらぬサービスを提供するためには、安定的、継続的な財源確保が必至であります。財源確保の手段としまして、公有財産の有効利用が考えられます。市の施設でありますヘルシーパークが、昨年から少し来客者の数が減っておるとのことでしたので、ヘルシーパークについて以下質問します。</p> <p>(1) ヘルシーパーク構想時の建設目的について</p> <p>(2) 現在のヘルシーパークの所有者と公有財産の種類と区分</p> <p>(3) ヘルシーパーク建設にあたり、防衛補助申請した時の防衛省（庁）の許可条件。</p> <p>(4) 来客者を増やすために何をすべきかを伺います。</p> <p>(5) 来客者が望むサービスはどのようなものであると考えているか伺います</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>11. 賀 茂 博 美</p>	<p>人の一生において、幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であり、幼児は、人と関わりをもつ生活の中で自己の表現、さらには、自我が芽生えるとともに、人に関わる力や他人の存在に気づくなど、自己を取り巻く社会への感覚を養っています。</p> <p>幼児期における育ちは大変重要であり、保護者からの3歳児就園に対するニーズが高まっております。しかし、今年度も例年同様、公立幼稚園の3歳児入園の抽選が行われたと伺っております。</p> <p>そこでお伺いいたします。</p> <p>(1) 抽選の状況について</p> <p>(2) 公立幼稚園3歳児入園の待機児童数について</p> <p>(3) 私立幼稚園への入園に移行した児童数およびその移行状況について</p> <p>(4) 今後の対応について</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 広報について	<p>現在、市が自ら情報を発信するツールとして、市広報紙、ホームページ、無線放送、ケーブルテレビ等があります。市からの情報は、市民の生活に密着したものであり、多くの情報を正確にわかりやすく、様々な媒体を使って提供する必要があると考えます。また、イベント、事業等のPRは市内のみならず、広く多くの方へ情報を発信することが必要かと思えます。</p> <p>そこでお伺いたします。</p> <p>(1) ケーブルテレビについて</p> <p>ア ケーブルテレビの接続世帯数および割合、視聴者数について</p> <p>イ 放送内容をホームページで公開、または、庁舎内等のテレビで定期的に放送するなど、多くの方が視聴できるようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 市の新たな施策、問題対応、イベント情報、募集情報などを動画供給サービスを利用して、インターネット上で配信してはいかがでしょうか。</p> <p>(3) 近隣市町ではコミュニティFMにより、市内のあらゆる情報を市内在住者のみならず、広く多くの方へ発信しております。裾野市においてもコミュニティFMの創設、または、既存のコミュニティFMを活用できないでしょうか。</p> <p>(4) 広報を広く知らせるために、広報専門官（監）の設置を考えてはいかがでしょうか。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>12. 岡本和枝</p>		
<p>1 私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金制度について</p>	<p>(1) 平成23年度の市立幼稚園3歳児の募集状況はどうであったか。</p> <p>(2) 市内の私立幼稚園に就園する幼児の保護者に対して、授業料および施設設備の負担軽減するこの制度、今年初めての取り組みであったが、事業評価はどうであったか。</p> <p>(3) この制度の補助対象は、裾野市に住所を有し、市内の私立幼稚園に就園させている家庭が対象となっているが、市外の私立幼稚園に通う園児の保護者を補助対象外とした根拠は。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 財政危機の折、裾野駅西区画整理事業の大幅見直しを</p>	<p>(1) 駅西土地区画整理事業に関して、職員による「事業仕分け」の結果内容はどうであったか。</p> <p>(2) 2005年10月の東京高裁で、伊東市の住民が反対していた県道の拡幅計画（180mの区間を11m幅の道路を18m幅にする都市計画決定）に対して、「ずさんな予測にもとづく都市計画決定は無効」とされ、最高裁で確定した。 裾野市の停車場線（29m道路（車道19m、プロムナード道路10m））、新道（21m、内歩道は5.5m×2=11m）を見てみるに、この計画線の先の計画はなく、「駅前通りの休日の歩行者数は平日に比べて半数程度になっている」という実態認識の中で、この「5.5m歩道」の需要予測はどうなっているのか。</p> <p>(3) 裾野駅すぐ北に計画されている「S字道路」や「行き止まりのUターン道路」はどのような設計理念で作られたのか。「曲がりくねった道をなくす」、「行き止まりの道をなくす」というのが、当初の区画整理の説明図にあったが、この説明に反する。また、現状は「直線道路」で「通り抜けできる道路」であるのに、わざわざ不便にするのはなぜなのか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 東中学校南側谷間への土砂投入事件について</p>	<p>(4) 第3次総合計画の、後期計画、平成23年度実施計画によると、駅西土地区画整理事業費6億5,200万円は資金計画から見ても減額されているが、その理由は何か。</p> <p>(5) 計画区域内の住民に大きな負担を与え続けてきて、さらに、莫大な税金を使う駅西土地区画整理事業の大幅見直しを行うことが市財政の健全な運営上からも求められているのではないか。</p> <p>(1) 本年2月25日に「土砂等による土地の埋め立て等事業中止命令」が出されました。中止の理由は、「裾野市土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例第6条第1項の許可を受けずに事業を施工しており、本事業を継続した場合、土砂崩落による大規模災害の危険性が極めて高いこと、隣接地等に本事業による悪影響が出ていることから、即刻、事業を全面中止する必要があると認められたため」。 6月17日の原状回復命令は、「周辺地等への被害が発生しており、また崩落災害の危険性が極めて高いため、当該地に搬入した土砂を場外搬出し、原状への回復を命ずる」というものでした。この間の、「東中学校南側残土処分問題部内対策委員会」の取り組み、事業施工者、地権者の反応はどうであったか。</p> <p>(2) 隣接地の被害者への対応は何かされたのか。</p> <p>(3) 現地をどうするのか、対策を問う。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>13. 内藤法子</p> <p>1 障害者福祉施設の建設と今後の課題について</p>	<p>今月3日から9日は障がい者週間です。障害者基本法において、国民の関心と理解を深め、障害者が自立と社会参加への意欲を高めることを目的としています。今年、12月7日にベルシティとヤオハンの2か所で、障害を持つ方々が、広く理解を求めるキャンペーンを展開いたしました。関係各位にとって、今年の障害者週間の活動は格別の思いがあるだろうと察しています。長い間待ち望んでいた（仮）裾野市障害者福祉施設・市庁舎別棟に就労の場が実現に向けて動き出しました。</p> <p>財政状況が厳しさを増すなかでも、必要な施設とお考え下さった市長の英断に感謝申し上げます。</p> <p>さて、ハード面の準備は整い、今後はソフト。事業の中身が問題になります。健康文化都市裾野市が誇れる、より良い福祉の増進を目指して以下ご質問申し上げます。</p> <p>(1) ここ数年増加している裾野市の障がい者の実態をお伺いします。 政策の基本データとなる障がい者の近年の推移をお伺いします。</p> <p>(2) 就労支援の方法について （仮）裾野市障害者福祉施設は、指定就労継続支援B型事業所です。 主に知的障害をお持ちの方々の就労支援が目的です。現在の定員の倍の利用が可能です。その定員に見合った仕事も必要となります。庁舎別棟に設けて頂ける、軽食・喫茶コーナーに大きな期待がかけられますが、その他も含めて具体的な就労支援の方法をお聞かせください</p> <p>(3) ジョブコーチ等の人材育成・活用について現状をお伺いします。 障害者を取り囲む問題が多様化する中、国は「福祉から雇用へ」といった方針を打ち出しています。その中で、ジョブコーチの考え方や方法は、近年急速に広まり、厚生労働省の「職場適応援助者（ジョブコーチ）事業」をはじめ、地方自治体による就労支援など、様々な公的事業に取り入れられています。今後の就労支援策を推進していく上で、ジョブコーチは不可欠の存在です。 現在裾野市で活動しているジョブコーチは居ますか。今後の育成についての取り組みについても伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 移転後のみどり作業所の活用について</p>	<p>(4) グループホームの早期設置を願います。 みどり作業所の利用者の高齢化が心配されています。23人の利用者の内7の方がすでに親を亡くし、兄弟に面倒を見てもらう形で暮らしています。 親亡き後の問題は待ったなしの状況にあり、優先度の高い問題としてグループホームの早期設置が実現できないか。お考えを伺います。</p> <p>(5) 学校教育における障がい者への理解促進教育の実践方法を伺います。 障がい者にとって一番ありがたいのが、地域の方々の理解と協力です。 ノーマライゼーション、共に生きる共生社会を目指して参りましたが、偏見の壁はまだ有ります。障がい者への理解促進教育は学校教育の中で行って頂けるのが効果的と考え、どのような形で行われているのかお伺い致します。</p> <p>(6) 精神医療体制の確立について 近年、問題になっているのは心の疾患です。現代病のストレスからくる精神疾患が急激な増加を示していますが、裾野市には精神科の病院が有りません。障がい者の福祉の推進には、行政・医療・福祉の連携が必要です。大変難しい課題と思いますが、日赤に精神科の医師を迎える等の方法で裾野市に於ける精神医療の確立が出来ないか。お伺いします。</p> <p>みどり作業所移転後の利用はどのような構想をお持ちか、伺います。市民から良く聞かれるのですが、民間なら、新しい構想と同時進行で移転後の活用を決め、建物を遊ばせる無駄は行わない、との指摘があります。</p> <p>(1) 効率的で無駄のない行政運営のために、その後の活用方法をどのようにお考えになっているのか、お伺いします。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
<p>3 就学援助制度の見直しについて</p>	<p>(2) 裾野市身体障害者福祉会の事務局設置について。 裾野市身体障害者福祉会は、障がい者の自立と社会参加を促す活動を推進して参りました。多岐にわたる活動の事務は会長が事務局長を兼務する形で務めています。事務局は、歴代会長の自宅提供で行われています。現実問題として個人の自宅対応では負担が大きく、書類の保管、整理、事務を執る等のスペース確保が難しい状況です。 事務局設置の状況ですが、三島市では福祉会館に、熱海市では市役所の中に設置されています。移転後のみどり作業所の活用方法の一つとしてお考え頂けないか。お伺いします。</p> <p>経済が冷え込んで、市民生活にも深刻な影響を及ぼしています。このところ、生活保護世帯増加のニュースが話題になっています。心配されるのは子供達への影響です。静岡新聞で“子供の貧困”という記事の連載が有りました。11月12日の記載で、学校の眼科検診でメガネが必要と言われたが食べることが優先で買えない、という状況がある事を知りました。 そこで、裾野市の子供の様子を心配し以下、質問致します。</p> <p>(1) 裾野市の就学援助制度利用の実情 近年の経済状況を反映して利用状況はどのように推移しているか、伺います。</p> <p>(2) 就学援助に於ける対象費目の内容 上記新聞記事によりますと、自治体を実施する就学援助の対象費目は一律でなくばらつきがあると指摘しています。裾野市の対象費目を教えてください。 また、メガネが対象費目になっていないのですが、勉強への影響力が大きいので、対象費目に入れて頂きたいと提案いたします。</p> <p>(3) 児童生徒の視力の現状について PCや携帯の普及で、子供の視力の低下が心配されています。現状は如何かお伺いします。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>14. 土屋秀明</p> <p>1 道路行政について</p>	<p>(1) 狭小狹隘市道</p> <p>ア 狭小狹隘道路が多い裾野駅東側の富士見台、茶畑地区や稲荷地区の道路整備はなぜ進まないのか。その理由は何なのか。また、これからの整備方針や計画は如何に。</p> <p>イ 救急車や消防車が入れない、入り難い地域をなくすことが喫緊の課題ではないのか。狭小狹隘道路の多い地区の道路整備についての基本的な考え方は。</p> <p>(2) 県道24号線</p> <p>ア 県道24号線の通勤車両渋滞で、沿線市民の生活に支障や迷惑を与えている。渋滞解消に向けて、県への要望活動を含め、市の取組状況は。</p> <p>イ 県道24号線・国道246号をはじめ、他の道路も北西部方面へ向かう通勤渋滞解消の目途が立たない。企業誘致を図る市にとって、進出を検討する企業の判断にマイナス材料とならないのか危惧するが、どのように考えるか。また、打開策はないものか。</p> <p>(3) 国道469号</p> <p>ア 国道469号の整備状況と市内の進捗状況は如何に。市として、当該道路の位置付け、または意義付けは。</p> <p>イ 十里木地区内は、通過車両の多さで住民生活に危険さえ感じている。一日も早い事業化が求められているが、市はどのように取り組んでいくのか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 質 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 経営危機に職員力	<p>(1) 今年度の財政力指数と最高値の指数は。市税収入の今年度決算見込み額と次年度推計額は。</p> <p>(2) 財政調整基金について伺う。今年度末見込み額は。取崩し額の今年度額と次年度以降の取崩し予測は。あるべき財政調整基金の額は。(市債残額との比較を加えて)</p> <p>(3) 事務事業の見直しを十分に行ったと言われる新たな実施計画が示されたが、見直し内容を説明されたい。</p> <p>(4) 事業評価であっても事業仕分けであっても、もっと深く掘り下げ、もっと大胆さが求められていると認識すべきではないか。</p> <p>(5) 全職員の意識を大きく変えて積極的に取り組まなければ、事務事業の抜本的な見直しはできない。そのためにも人事評価制度を早期に導入して、職員力を強く高めるべきではないのか。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>15. 小林 俊</p>		
<p>1 高齢者対策について</p>	<p>(1) 高齢者医療費助成費の状況について 後期高齢者医療保険制度の適用される市民への補助として、当市では高齢者医療費助成制度が実施されている。今年度も予算付けがされているが、よりよい補助制度とするために伺う。 ア 昨年度の支給状況はどうか。請求された割合、限度額との関係など。 イ 今年度の改善点はあるか。周知方法、限度額、申請方法、申請期間などはどうか。</p> <p>(2) 敬老会の現況、対象者の増加に対する方策及び今後の見通しについて ア 敬老会対象者実数の変遷、見通しは。 イ 地区ごとの敬老会参加人数の実績と、敬老会運営に関する問題点はどうか。 ウ でき得れば対象年齢の引き上げなどはしないほうが好ましい。どのような方策が考えられるか。 エ 敬老の意を表すのに、現状とは異なる他の方法は考えられないか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 道路改修について</p>	<p>市内狭隘道路の改修に対しては、様々な制約があるなかで多様な住民の考えに対処していかなければならず、自治会との協働が求められる。長らく懸案として自治会から要望の出ているような地点の改修には、過去にとらわれずに大胆な取組も必要と考えられる。</p> <p>(1) 通称組合道と県道394号との岩波書店角の交差点の修繕と、その230mほど南側の新東食堂前の歩道確保については、地元自治会の働きもあり、住民の同意もある。現況と改善の見通しはどうか。</p> <p>(2) 県道との交差点の修繕に対しては、地元としてどのような動きをすれば問題解決が図られると思うか、助言を求める。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>3 ファルマバレー構想への取組み</p>	<p>ファルマバレー構想への対応について。現状はどうか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>